

社会経済史学会 第79回全国大会 プログラム

2010年6月19日(土)・20日(日)

会場：関西学院大学
(西宮上ヶ原キャンパス)

6月19日 土曜日

開場 8:30
自由論題報告① 9:30~10:20
② 10:25~11:15
③ 11:20~12:10
昼休み 12:10~13:00
自由論題報告④ 13:00~13:50
⑤ 13:55~14:45
80周年記念パネル 15:00~17:10
会員総会 17:20~18:10
会員懇親会 18:20~20:00

6月20日 日曜日

開場 8:30
パネル・ディスカッション①~③ 9:20~11:50
昼休み 11:50~12:30
パネル・ディスカッション④~⑥ 12:30~15:00
パネル・ディスカッション⑦~⑨ 15:10~17:40

主催：社会経済史学会 第79回全国大会実行委員会事務局

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1-155

関西学院大学経済学部 藤井和夫研究室内

電話 0798-54-6204 (経済学部事務室)

FAX 0798-51-0944

※FAXの場合、藤井和夫研究室宛と明記をお願いします。

E-mail kwansei.eco@live.jp

6月19日(土) 自由論題報告

第1会場 (西洋史 I)

B号館3階304教室

① 9:30~10:20

消費, 流行, ミドリング・ソート
——18世紀ブリストルの遺産検認目録と『ザ・レディス・マガジン』——
報告 和田 将幸 (関西学院大学大学院研究員)
司会 道重 一郎 (東洋大学)

② 10:25~11:15

18世紀後半イギリスにおける奴隷貿易決済システム——Davenport & Co.の受領手形に見る決済構造——
報告 長澤 勢理香 (同志社大学大学院)
司会 北川 勝彦 (関西大学)

③ 11:20~12:10

営業認可制度下における都市公共交通サービス——フランス三大都市の比較から(1880年~1930年代まで)——
報告 國府 久郎 (明治大学兼任講師)
司会 市川 文彦 (関西学院大学)

④ 13:00~13:50

第二帝政期ドイツ都市における失業保険問題——大ベルリン連合を事例として——
報告 森 宜人 (関東学院大学)
司会 川越 修 (同志社大学)

⑤ 13:55~14:45

イスラム的信託(ワクフ)の法と経済学的分析——英米信託との比較を通して——
報告 高岩 伸任 (一橋大学大学院)
司会 水田 正史 (大阪商業大学)

※アフター・セッション：B号館1階104教室

第2会場 (西洋史 II)

B号館3階303教室

① 9:30~10:20

(報告なし)

② 10:25~11:15

ロシアの旅順占領事件(1897年)と「日英同盟」論——ロシアの脅威とイギリス商業界の日本への期待——
報告 漆間 真由美 (富山大学非常勤)
司会 秋田 茂 (大阪大学)

③ 11:20~12:10

なぜフーヴァー大統領はスムート・ホーリー法に署名したのか——大統領権限からみた同法の位置づけ——
報告 小山 久美子 (長崎大学)
司会 秋元 英一 (帝京平成大学)

④ 13:00~13:50

イタリア北部織物業における大恐慌の影響, 1930-33年——コモ地方の事例を中心に——
報告 日野 真紀子 (大阪大学大学院)
報告 籠谷 直人 (京都大学)

⑤ 13:55~14:45

経済学者M.ブロンフェンブレナー(1914-1997)の日本訪問(1949-1952)
報告 池尾 愛子 (早稲田大学)
司会 沢井 実 (大阪大学)

※アフター・セッション：B号館1階104教室

第3会場 (アジア史)

B号館3階302教室

① 9:30~10:20

光緒24(1898)年浙江紹興府における平糶
報告 堀地 明(北九州市立大学)
司会 吉澤 誠一郎(東京大学)

② 10:25~11:15

定石としての南洋勸業会
——清末における近代化政策とその限界——
報告 小羽田 誠治(宮城学院女子大学)
司会 飯島 渉(青山学院大学)

③ 11:20~12:10

20世紀初頭の天津金融再編と外国銀行
報告 蕭 文嫻(大阪経済大学非常勤)
司会 黒田 明伸(東京大学)

④ 13:00~13:50

北洋政府期華北における銀行経営と貨幣制度
報告 諸田 博昭(慶應義塾大学大学院)
司会 城山 智子(一橋大学)

⑤ 13:55~14:45

台湾織布業の成立と発展
——戦前と戦後の継続性の視点から——
報告 圖左 篤樹(京都大学大学院)
司会 金丸 裕一(立命館大学)

※アフター・セッション：B号館1階104教室

第4会場 (日本史I)

B号館3階301教室

① 9:30~10:20

兎島醤油株式会社と岡山県の醤油醸造業
報告 前田 昌義(倉敷市立精思高校)
司会 井奥 成彦(慶應義塾大学)

② 10:25~11:15

1920年恐慌前後の日本綿業
——中京圏の取引信用をめぐって——
報告 籠谷 直人(京都大学)
橋口 勝利(関西大学)
司会 阿部 武司(大阪大学)

③ 11:20~12:10

戦間期における日本石炭産業の展開と港湾荷役
——石炭積込の機械化と港湾荷役業者の再編——
報告 木庭 俊彦(九州大学)
司会 大島 久幸(高千穂大学)

④ 13:00~13:50

1920-30年代における食品卸売商の展開
——祭原商店の組織改革と小売商支援策——
報告 中村 慎一郎(立教大学大学院)
司会 廣田 誠(大阪大学)

⑤ 13:55~14:45

三菱財閥の統轄組織と委員会制度
——寄附委員会の検討を中心として——
報告 石井 里枝(財団法人三菱経済研究所)
司会 畠山 秀樹(追手門学院大学)

※アフター・セッション：B号館1階104教室

第5会場 (日本史II)

B号館2階204教室

① 9:30~10:20

幕末南関東山村における小農家族経済の持続性
——武蔵国秩父郡上名栗村・下名栗村を
例として——

報告 戸石 七生 (東京大学)

司会 友部 謙一 (大阪大学)

② 10:25~11:15

近代村落社会における共同体の経済的機能
——長野県清内路村・和村の事例を中心に——

報告 田中 光 (東京大学大学院)

司会 長谷部 弘 (東北大学)

③ 11:20~12:10

農とゆいの経済史

報告 水田 隆太郎 (京都大学大学院)

司会 森 武麿 (神奈川大学)

④ 13:00~13:50

戦時期～戦後改革期の土地区画整理と地主
・小作農民

——尼崎市を事例として——

報告 沼尻 晃伸 (立教大学)

司会 坂根 嘉弘 (広島大学)

⑤ 13:55~14:45

戦後自作農間の農地移動

——長野県下伊那郡伊賀良村の事例——

報告 青木 健 (慶應義塾大学大学院)

司会 森 武麿 (神奈川大学)

※アフター・セッション：B号館1階104教室

第6会場 (日本史III)

B号館2階203教室

① 9:30~10:20

天野為之の経済学に関する一考察
——『経済原論』を中心に——

報告 大淵 三洋 (日本大学)

司会 川口 浩 (早稲田大学)

② 10:25~11:15

高橋亀吉「日本近代経済形成史論」の再検討
——マルクス主義歴史家・土屋喬雄との比較から——

報告 影浦 順子 (立命館大学大学院)

司会 山本 義彦 (静岡大学)

③ 11:20~12:10

近世中後期における菱垣廻船の衰退
——樽廻船との関わりを中心に——

報告 伊藤 敏雄 (関西学院大学大学院)

司会 上村 雅洋 (和歌山大学)

④ 13:00~13:50

幕末・明治前期の静岡茶の移出における清水港の
機能と鈴木与平の活動

報告 栗倉 大輔 (中央大学大学院)

司会 寺本 益英 (関西学院大学)

⑤ 13:55~14:45

明治中期から昭和期における竹材・竹製品の生産
流通

——日本の竹種資源の生態特性・管理特性・産業
化の関係を分析視点として——

報告 岩松 文代 (北九州市立大学)

司会 赤坂 義浩 (神戸学院大学)

※アフター・セッション：B号館1階104教室

6月19日(土) 自由論題報告

第7会場 (日本史IV)

B号館2階202教室

① 9:30~10:20

戦前期日本の海外資源確保と蘭領東インド石油
——「第2次日蘭会商」と蘭印の対日石油輸出方針の変容過程を中心に——

報告 張 允貞 (早稲田大学大学院)

司会 白木沢 旭児 (北海道大学)

② 10:25~11:15

府県別現住人口推計の試み：1898-1920

報告 攝津 齊彦 (一橋大学経済研究所COE研究員)

司会 浜野 潔 (関西大学)

③ 11:20~12:10

日本帝国の解体と戦後東アジア貿易関係の形成

報告 堀 和生 (京都大学)

司会 久保 亨 (信州大学)

④ 13:00~13:50

産業化による資源利用の相克

——常磐湯本温泉を事例に——

報告 高柳 友彦 (一橋大学)

司会 森口 千晶 (一橋大学)

⑤ 13:55~14:45

日本における医療制度の近代化

——放射線器械の普及を事例として(1900-1960年)——

報告 ピエール=イヴ・ドンゼ (大阪大学大学院
・日本学術振興会外国人特別研究員)

司会 千田 武志 (広島国際大学)

※アフター・セッション：B号館1階104教室

6月19日 (土) 15:00~17:10

特別会場 (B号館1階101教室)

80周年記念パネル
社会経済史学の新たな課題

その存在理由の共有を求めて

司会・問題提起 杉原 薫 (京都大学)

報告1

経済学における社会経済史の位置と役割は？

宮本 又郎 (関西学院大学)

報告2

日本の国際的プレゼンスをいかに高めるか

リンダ・グローブ (上智大学)

報告3

社会経済史学に存続の意義はあるのか

松村 高夫 (慶應義塾大学名誉教授)

コメント1

杉山 伸也 (慶應義塾大学)

コメント2

武田 晴人 (東京大学)

コメント3

岸本 美緒 (お茶の水女子大学)

17:20~18:10

特別会場 (B号館1階101教室)

会員総会

18:20~20:00

関西学院会館

社会経済史学会賞発表・授与式
会員懇親会

9:20~11:50

第1会場 B号館3階304教室

天保の飢饉と村落社会

——上田藩上塩尻村における天保の凶作・
飢饉の事例研究——

組織者 長谷部 弘(東北大学)
司会者 國方 敬司(山形大学)

趣旨説明

天保の凶作・飢饉への村落的対応
長谷部 弘(東北大学)

報告1

信州上田小県地方における天保の凶作
村山 良之(山形大学)

報告2

飢饉と人口変動
高橋 基泰(愛媛大学)

報告3

飢饉と農民層分解
山内 太(京都産業大学)

討論1

人口史研究の立場から
高木 正朗(立命館大学)

討論2

歴史地理学研究の立場から
溝口 常俊(名古屋大学)

9:20~11:50

第2会場 B号館3階303教室

歴史の中のワーク・ライフ・バランス

——経済生活の多様性と社会経済史——

組織者 藤井 和夫(関西学院大学)
司会者 沢井 実(大阪大学)

問題提起

藤井 和夫(関西学院大学)

報告1

“産業帝政”下の庶民層生活パターン
——近代フランスの事例——
市川 文彦(関西学院大学)

報告2

労働者の余暇とアソシエーション
——19-20世紀転換期のイギリスの事例から——
小関 隆(京都大学)

報告3

小経営におけるワーク・ライフ・バランスの変化
——機屋のおかみさんの役割を手がかりに——
橋野 知子(神戸大学)

報告4

17世紀~18世紀初頭のイギリスにおける消費ス
タイルの変化——検認遺産目録中の商品在庫の
分析を中心に——
岡部 芳彦(神戸学院大学)

コメント1

友部 謙一(大阪大学)

コメント2

黒澤 隆文(京都大学)

9:20~11:50

第4会場 B号館 3階 301教室

Financial Crises in Historical Perspectives: External Shocks, Contagion and Safety Nets

組織者 岡崎 哲二(東京大学)
司会者 柳生 智子(慶應義塾大学)

報告1

A Credit Crisis: The Shanghai Financial Market, 1934-1935
Tomoko Shiroyama (Hitotsubashi University)

報告2

Interbank Networks in Pre-war Japan: Structure and Implications
Tetsuji Okazaki (University of Tokyo) and Michiru Sawada (Nihon University)

報告3

Discount Lending Halted the Banking Panic of 1929
Gary Richardson (U.C. Irvine)

報告4

Aldrich-Vreeland Emergency Currency as a Lender of Last Resort
Christopher Hoag (COE College)

討論1

澤田 充(日本大学)

討論2

矢後 和彦(首都大学東京)

12:30~15:00

第4会場 B号館 3階 301教室

**企業統治、所有構造、そして労働組織
—日本における近代的な企業組織の形成と発展—**

組織者 中林 真幸(東京大学)
司会者 阿部 武司(大阪大学)

報告1

近代紡績企業の合併効果と市場の評価
—紡績大合同論の意義—
結城 武延(日本学術振興会特別研究員)

報告2

資産特殊性と企業の境界
—筑豊炭鉱業と鉄道企業—
中村 尚史(東京大学)

報告3

内部労働市場の形成
—鉄鋼業の技術導入と技能形成—
中林 真幸(東京大学)

報告4

組織と市場の補完性
—製品市場と職場組織—
大湾 秀雄(東京大学)

報告5

女性労働と企業
—生産性と賃金と人的資本投資—
川口 大司(一橋大学)

討論1

尾高 煌之助(一橋大学名誉教授)

討論2

玄田 有史(東京大学)

12:30~15:00

第2会場 B号館3階303教室

ブルゴーニュ国家における
財政システムの形成

組織者 藤井 美男(九州大学)
司会者 河原 温(首都大学東京)

問題提起

「近代国家」形成期における財政制度
——租税・国家・在地権力——
藤井 美男(九州大学)

報告1

14世紀後半フランス王国及びブルゴーニュ公領
の財務官僚ニコラ・ド・フォントゥネ
——地方役人の社会的上昇の軌跡と富の蓄積——
花田 洋一郎(西南学院大学)

報告2

製塩所グランド=ソヌリ長官ジャン・シュザの活動
——塩鉱山経営とブルゴーニュ国家財政——
中堀 博司(宮崎大学)

報告3

フランドルにおける援助金の交渉と徴収
畑 奈保美(尚絅学院大学非常勤)

コメント

中世中期北フランス・フランドル都市史の立場から
山田 雅彦(京都女子大学)

12:30~15:00

第1会場 B号館3階304教室

近現代南アフリカ経済史研究の諸問題
——土地・労働・企業の視点から——

組織者 北川 勝彦(関西大学)
司会者 松島 泰勝(龍谷大学)

問題提起

北川 勝彦(関西大学)

報告1

土地制度と土地闘争から見る近現代南アフリカ
農村社会
佐藤 千鶴子(アジア経済研究所)

報告2

南アフリカ金鉱業における移民労働者の社会経済的役割
——モザンビークからの移民労働者を中心に——
網中 昭世(日本学術振興会特別研究員)

報告3

南アフリカにおけるアパルトヘイトと
企業グループ
西浦 昭雄(創価大学)

討論

比較と関係性から見た近現代南アフリカ経済史
の展開
峯 陽一(同志社大学)

15:10~17:40

第5会場 B号館2階204教室

近代近江商人の企業展開と経営構造
——近江日野商人・山中兵右衛門家の事例に
即して——

組織者 筒井 正夫(滋賀大学)
司会者 石井 寛治(東京大学名誉教授)

報告1

明治期山中家御殿場支店における酒造業の展開
佐々木 哲也(NPO法人たねや近江文庫)

報告2

明治期山中家小田原・伊豆南条・沼津支店の経営
久岡 道武(京都市上下水道局非常勤職員)
山口 悠(一橋大学大学院)

報告3

明治期日野における日野商人の起業活動と
山中家の投資展開
筒井 正夫(滋賀大学)

報告4

近代山中家の事業展開と資本蓄積
松元 宏(横浜国立大学名誉教授)

コメント

末永 國紀(同志社大学)

15:10~17:40

第6会場 B号館2階203教室

「福祉の複合体」の国際比較史
——第一次大戦前後の中間団体と国家福祉
を中心に——

組織者 高田 実(下関市立大学)
司会者 川越 修(同志社大学)

問題提起

高田 実(下関市立大学)

報告1

イギリスにおけるチャリティ、相互扶助、
国家福祉
高田 実(下関市立大学)

報告2

ドイツにおけるキリスト教系福祉と社会国家
中野 智世(京都産業大学)

報告3

スウェーデンにおける中間団体と国家福祉
石原 俊時(東京大学)

報告4

ロシアにおけるチャリティ、地域福祉、
国家福祉
高橋 一彦(神戸市外国語大学)

コメント

ヨーロッパ福祉国家史研究の視座
——近世・近代史の立場から——
長谷川 貴彦(北海道大学)

6月20日(日) パネル・ディスカッション⑨

15:10~17:40

第7会場 B号館2階202教室

コロンボ・プランとアジア国際秩序の 再編

組織者 渡辺 昭一(東北学院大学)

司会者 脇村孝平(大阪市立大学)

問題提起

渡辺 昭一(東北学院大学)

報告1

コロンボ・プランの成立過程

渡辺 昭一(東北学院大学)

報告2

コロンボ・プランにおける技術援助の諸側面
——英印間の技術移転の実態——

横井 勝彦(明治大学)

報告3

日本のコロンボ・プラン加入とイギリス、
オーストラリア

木畑 洋一(成城大学)

報告4

米国の冷戦政策とコロンボ・プラン
——1950年代アジアにおける地域協力の模索——

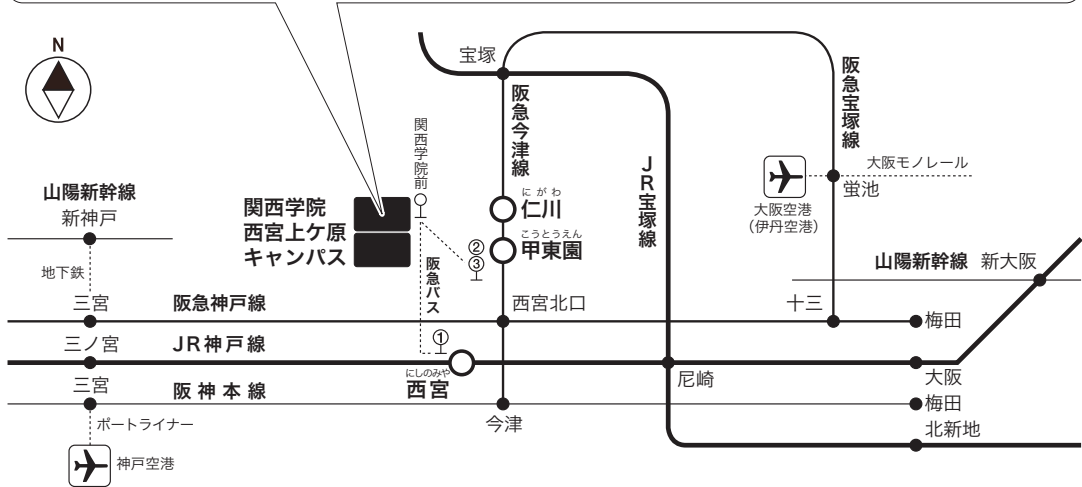
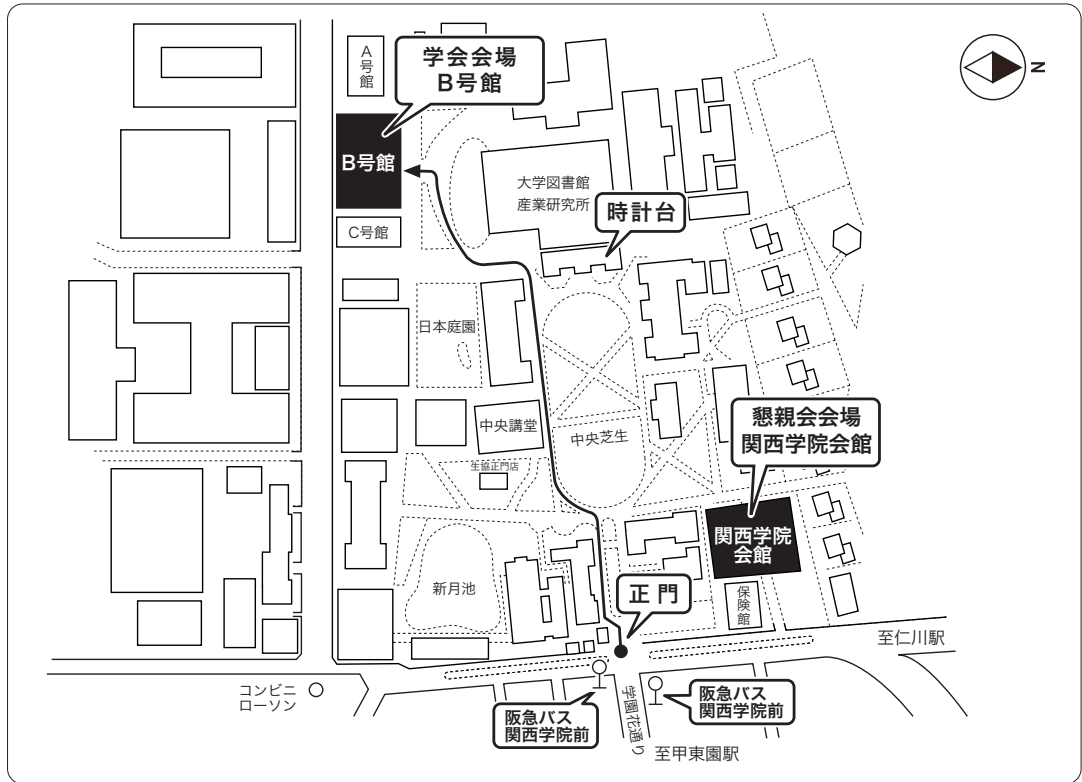
菅 英輝(西南女学院大学)

コメント1

都丸 潤子(早稲田大学)

コメント2

宮田 敏之(東京外国語大学)



ご案内

阪急電車ご利用の場合

- 梅田—甲東園・仁川 (約25分)
- 三宮—甲東園・仁川 (約25分)
- いずれも西宮北口で今津線宝塚行に乗り換え。
- 仁川：大学まで徒歩12～15分。
徒歩ルートは大学ホームページのアクセスマップをご覧ください。
- 甲東園：急な登り坂が続きますので、阪急バスのご利用をおすすめします。
阪急バスのりば②③ (のりば②③から出るバスはいずれも可)、「関西学院前」下車 (所要約5分、料金210円)。

JRご利用の場合

- 大 阪—西宮 (約12分)
- 三ノ宮—西宮 (約14分)
- JR西宮には普通・快速はとまりますが、新快速はとまりません。
- 西宮駅から阪急バス
改札口を右側に進み、駅北側ターミナルのりば①「甲東園」行に乗り、「関西学院前」下車 (所要約20～25分、料金210円)。

※所要時間に待ち合わせは含まれません。